

平成30年7月1日～6日に第18回国際薬理学・臨床薬理学会議（WCP2018）が国立京都国際会館で開催されました。

7月2日（月）には本校生のグループが「ヒト腎がん細胞に対する抗がん剤の併用効果」について英語でポスター発表を行いました。

今回参加したのは、3年生の藤田智成君、浅野間優衣さん、越後友貴君、橋本英奈さんで、2年生の時から「課題研究」で研究してきたものです。姫路獨協大学薬学部医療薬学科の矢上達郎教授に毎月指導いただき、先生のご推薦で発表の機会を得たものです。

国際薬理学会は、国際薬理学連合（IUPHAR）の会議として、1961年から通常4年ごとに開催されている薬理学分野で最も由緒あり、権威ある国際会議だそうです。日本での開催は、37年振り2回目ということです。

外国からの研究者も多く、使用言語は英語となっています。

この国際薬理学会で高校生が発表するのは初めてだそうです。



会議の様子



ポスター発表の様子 他の発表と同様、生徒たちも英語で説明し質疑応答も英語で行いました。

発表した生徒の皆さんはおつかれ様でした。

研究を進めるにあたって、1年以上にわたり毎月ご指導いただき、さらに権威ある学会で発表できるよう取りはからっていただいた姫路獨協大学の矢上達郎教授はじめ研究室の皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。